

## 自分の組手ができ 納得の全道連覇

「試合前は、いつも緊張してしまい、普段どおりの力が出せないこともありすが、同じ道場生や保護者たちの応援とサポートのおかげで、連覇を成し遂げることができ、本当にうれしかったです」と笑顔で話す久居さん。

久居さんが空手を始めたのは小学4年生のころ。久居さんは始めたきっかけについて、「いとこが空手をやっているのを見ているうちに、自分もやってみたいと思うようになったのが、きっかけでした」と話し、楽しみながら空手の世界にのめり込んでいきます。

平成29年6月に大阪府で開催されるグランドチャンピオン決定戦の出場権を手に入れた久居さんは、「出たい気持ちは強いのですが、来年からは高校生の部となるため、今の自分の実力のままでは通用し



▲足技を繰り出す久居さん

ないと思うので、もっと練習をして仕上げてから、万全の気持ちで臨みたいですね」と心境を話してくれました。

## 空手を通して 教わったこと

「空手で学んだ基礎の大切さや礼儀は、普段からも大切にするよう心掛けています。基礎は勉強に礼儀は社会に出てからも通ずるところがあると思うので、これからも大切にしていきたいです」と空手から多くのことを学んでいる久居さん。

稽古が短い時間でも集中して練習に打ち込み、体を動かすことで、息抜きやリフレッシュになっているそうです。

「家族に送り迎えをしてもらいながら道場に通っているため、とても感謝しています」と話す久居さんの言葉からは、家族への感謝の気持ちが込められていました。

今後について久居さんは、「目標とされる先輩になれるよう、後期生（高校生）になっても感謝の気持ち忘れずに空手を続けていきたいです。今度は自分が道場生の支えになっていきたいです」と思いを語ってくれました。



KIRARI

ひさ い ゆ ま  
久居由茉さん

9月4日(日)、札幌市で開かれた『北央自動車学校杯オープントーナメント第3回北海道空手道選手権大会第22回全日本少年少女空手道選手権大会グランドチャンピオン決定戦選考大会』の女子の部で優勝した久居由茉さん。昨年の同大会での優勝に引き続き、見事連覇を成し遂げました。

さらに、平成29年6月に大阪府で開催される『第22回オープントーナメントグランドチャンピオン決定戦全日本少年少女空手道選手権大会』の出場権を手に入れました。

今回は、連覇を懸けて戦った大会の思いや空手を通して学んだ心構えなどを久居さんに伺いました。

## 目の前のことに満足せず、 向上心とチャレンジ精神を持ち続けたい

平成13年、伊達市生まれ。15歳小学4年生から空手を始め、『極真会館北海道本間道場室蘭支部』に入門。北海道登別明日中等教育学校に入学し、現在、中学3年生にあたる3年生。生徒会の書記長を務めるほか、書道部や器楽同好会にも所属し、文武両道に励む。